

戦 評

大会名 第69回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会

男子 ・ 女子 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場名：北上総合体育館

主 審：多田 直樹

副 審：田中 哲

試合結果

一関修紅 3 { $\left. \begin{array}{l} 25 - 23 \\ 25 - 21 \\ 25 - 23 \end{array} \right\}$ 0 盛岡南

戦 評

試合時間 1時間17分

決勝は3年連続で同じ対戦となった。

第1セット中盤、一関修紅は4番福士、1番菊地のスパイクやブロックが決まりリードする。盛岡南は1番五十嵐、2番佐藤の連続ブロックで追いつく。最後、一関修紅は4番福士のスパイクが決まり、競り勝った。

第2セット、一進一退の攻防で終盤までもつれたゲームとなったが、一関修紅4番福士、1番菊地のスパイクで盛岡南を突き放し、セットを連取した。

第3セット、後がない盛岡南は2番佐藤のスパイクが決まり、序盤リードする。一関修紅は、途中出場した7番金野のブロック等の連続ポイントで逆転する。追いすがる盛岡南は、2番佐藤のスパイクで点差を詰めるが及ばず、リードを守った一関修紅が5年連続11回目の全国大会出場を決めた。

※7～10行にまとめること。

戦評者：及川 辰夫

岩手県バレーボール協会